

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 国土交通省への合同提言活動

令和2年11月11日に「高知県道路利用者会議（会長 楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（会長 池田洋光）」が、防災・減災、国土強靱化事業の対象事業拡大と次期五カ年間の継続や高規格道路の早期整備・開通予定時期の早期公表、有料の暫定二車線区間の四車線化などについて提言を行いました。

● 提言項目

- 一、防災・減災、国土強靱化事業について、安定的な人流・物流の確保に向けたダブルネットワークの構築等も含めた対象事業の拡大と次期五カ年間の継続
- 一、地域経済の復興と活性化を図り、国土強靱化対策の推進に不可欠な高規格道路の早期整備及び開通予定時期の早期公表
- 一、有料の暫定二車線区間のうち優先的に四車線化を進める区間として選定された区間の着実な整備
- 一、地方の道路整備を計画的に推進するための社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実
- 一、予防保全への転換に向けた老朽化対策の実施

● 国土交通省（吉岡 幹夫 道路局長）への提言



左から、道全協こうち中平副会長(四万十市長)、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、吉岡道路局長、高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川俣・外ヶ淵協議会会長)、道全協こうち岩崎副会長(大豊町長)、道全協こうち横山副会長(安芸市長 web参加)

【提言概要】

- 国土強靱化事業の対象事業拡大と継続（池田会長）
 - ・平成30年7月豪雨では、県内各地で甚大な被害が発生し、国土強靱化の重要性を身をもって実感。
 - ・災害への備えを早期にそして確実に高めるためには、トンネルを含む中山間地域のバイパス整備等や老朽化対策を加速化させる、防災・減災、国土強靱化対策の対象事業拡大と次期五カ年間の継続が重要。
- 交付金の充実（岩崎副会長）
 - ・全国屈指の森林県である高知県では原木生産量の拡大や販路拡大に向けた取り組みを進めている。
 - ・木材の運搬経路である国道は、未整備区間や防災上危険箇所等の課題を抱えている。
 - ・交付金の充実により道路整備が加速することで地場産業の継続と発展に大きく寄与する。

- 高規格道路の早期整備（楠瀬会長）
 - ・コロナの影響により落ち込んだ県全体の景気回復に向けた取り組みの大きな後押しや、南海トラフ地震など大規模災害発生時に命の道として重要な役割を果たす高規格道路の早期整備は不可欠。

吉岡道路局長からは「まずはミッシングリンクの解消、それが産業のためにも非常に大事。高速道路とそれに繋がる国道等も含めたネットワーク強化をしっかりと頑張ってください。」と心強いお言葉を頂いた。

● 国土交通省（浅輪 宇充 大臣官房 技術総括審議官）への提言



左から、道全協こうち中平副会長(四万十市長)、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、吉岡道路局長、高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川俣・外ヶ淵協議会会長)、道全協こうち岩崎副会長(大豊町長)、道全協こうち横山副会長(安芸市長 web参加)

【提言概要】

- 国土強靱化事業の対象事業拡大と継続（中平副会長）
 - ・地域住民や観光客等が利用する国道441号は、非常に狭隘で落石等の危険箇所が多く存在。
 - ・国土強靱化事業の継続により、地形が急峻な山間部のバイパス整備が可能となり、安全で安定した通行を確保することで、地域の観光振興の発展に大きく寄与。
- 国土強靱化事業の対象事業拡大と継続（横山副会長）
 - ・平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した安芸市では、本格的な国土強靱化対策はこれから。
 - ・基幹産業であるゆずの生産を行う上で重要な道路は、大雨による落石や橋梁の老朽化等の課題を抱える。
 - ・国土強靱化対策の継続と防災・減災対策と並行した老朽化対策による道路ネットワークの強化が不可欠。

浅輪技術総括審議官からは「命の道としてやらなければならない事業が沢山あること、色々な面からの説明により理解が深まりました。」と力強いお言葉を頂いた。

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。
私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。